自由公正なる報道に專念せよ機關新聞といふ考へを棄てい

源な歴史をもつた新聞人だから、 哲学を依頼した講作。 標山氏は立

者に

新聞人だから、

上に書きることに書きなことに書きなことに

のだが、この不景気で質手が無くこで自分は感依驚後機関新聞なご

たいもの

委員選任祭に難し徳

ひたいもの ・ とこ日を変紅業館にて徳川議長さ ・ 本職議役はこの間の郷係をなすべ ・ 本職議役はこの間の郷係をなすべ ・ 本職議役はこの間の郷係をなすべ ・ 本職議役はこの間の郷係をなすべ ・ 本職議役はこの間の郷係をなすべ ・ もの ・ も

北洋漁業擁護案

公正會滿場一致承認

にも立たぬと思ふ。

報

望

新陸を繰り置まない、満日をもされた。

を書くといふ必要はないはれた如く新聞は社の。 事だから悪い事でも良いはれた如く新聞は社の場がから、事實を

満鐵學校關係の

異動の範圍

勇退者は訓導二三名

陸軍定期異動

日報をより良くしなければいけなうである。時折他の人々から滿洲

いちやないかさ注意され、

一言述べなければならの立場にあ

仙石滿鐵總裁挨拶

松山本計長の新任故露宴(まうれ

報き添鑑さのこと

なあさ氣がつく位で、これは或けなあさ氣がつく位で、これは或けなって、何を書かれるが、この年によく新聞に書かれるが、この年によく新聞に書かれるが、この年に

其日々々のニュースな正確に 報道事誌」さいふ新聞があつて、 田治五六年頃英人プラックの『日

の満別



界 木 鈴 人行警 二 號 口 山 人 帆 蜗 略 太 냳 下 山 人 崎 印 地市一州州网及東市地大 世報 日 川 鴻 社 會 女 珠 所 所

久保田

版。銅版

都 3

樂

策

街

照

明

理論者を始 不安に閉ざる 治實現

政治的に實現せんとする決意を固め都以一派の純理論者の政府外追放を策しに関係と続いてゐた感過酸の南北戦所終了後蔣氏は獨裁專制により自己の理 ■に至った風困さらて膨降する感によれば病、 は大海二日費」然介花氏が炭姫砂漠民氏を監察した。 を固め部以一派の総理総者の政府外追溯を競し職人令後蔣氏は獨裁專制により自己の理想を蔣、胡兩氏間には昨年夏以來確執を生際、胡兩氏間には昨年夏以來確執を生 テ 7 斷行目的

悪餐する事は孵命環氏の政治膨胀率に電大なる職機を選すものと観らる ■動揺を求す形勢は動しも看取されない、しかしある向きでは動かるクーデター 皿の事により國民政府上下が一時確不疑に限されてある事は事態であるが國民政府の基礎 同に成立した所謂蔣、胡聯立政權を破棄し國民政府を名割共に震災する事立なつた、 機會を得てクーデターを賦行し胡氏を楽排監察したものである、これにより勝氏は第五次全體會職 石氏の聲明書 (南京二日發) 胡漢民氏監禁事

將氏左翼勢力 改組派が漸次擡頭 へ乘替へ 院長一人の反對により曩に國民に對して宣布せる。財産の安全を保證する約法の制定は孫總理の資志。國民會議に訓政時期の約法を提出討論する事が絕

よりの銀僧就世際はその唯一の支一を來すべらと翻測されてゐるしこ見られてゐる。、一方アメリカ一持者な人間漢氏氏を失つて一 北平奉天當局の觀測 重要四案を可決

大十名を召集し業部全職會議を願い、大十名を召集している。一大十名を召集している。 緊急全體會議を開催 C 立法院長林森 C元立法副院 依顧免官立法院長初漢民

と欧州派が航空旅頭も聚るべー に欧州派が航空旅が代売部長に が発売のださいふに一

右可決さ共に起草を聞さし 會無提出の約法を起草せ上むる 、約法制定委員會を組織し國民 、任立法副院長邵元冲 一月よりさし、これが遮備を覚施して、「たが、「教護法の實施財は昭和七年に整へるここ、と午後八時散會したが、教護法の實施財は昭和七年に整へるここ、との日間農村 に書てるさ に書てるさ

(日曜水)

救護法

財源

けふ閣議で最後決定

『南京二日教』排演民氏は去る世 八日夜郷介森氏に連捕され今なほ 唐山温泉の館で李濱珠を指続した 部康に解閉されてゐる事が短明し 記述のの館で李濱珠を指続した

を辿りその機制漢氏氏を一室に職 襲會に揺き制漢氏氏來助するや要 宴會に揺き制漢氏氏來助するや要

から緊急監察を設置を開き役決議 監禁中

院内大臣等より乗山の金子委員長度を暇ふべく安楽内様は二日午後度を収ふべく安楽内様は二日午後の態に要求に對し政府の態

管経験が都市の美観を基礎に調整経験が都市の美観を基礎に調整に調整に調整を表現しませい。 かいここだ **懲**式でも、**職分**滞離な 社(海政治 でも、衝路職別でも、特た越築くめで取締られたが、道路行政との種の標準に從來總で規則つ はネオンサインが中々許可されが行はれた時代がある。東京で め、道路行政に支障を來す鏡だ なほ立法院長には副院長林森一氏昇格し、 それを大連では大に照明を襲 たが、馬子にも衣裳だ、一番先れが、お上の腔呼ら中々手門取って、お上の腔呼ら中々手門取っている。

電いからす知らす客見を其地に向けさすことだ、それには町全にからす知らす客見を其地に である。市全獣が装飾さ、職はしさ 元例は渡速町にある。 0 比べ者でない。 それに龍だの

いた。 のは、アノ締織がやか が密の離もが一等に のは、アノ締織がやか が密の離もが一等に のは、アノ締織が一等に のは、アノ締織がやか 居る、山木の電板

への客見は強えた

はせる許りでない、人が人たり はせる許りでない、人が人たり も、酸所で買ふた者を能つて たり、除所で買ふた者を能力でない、人が人たり はせる許りでない、人が人たり たり、除所で買ふた者を能力でない。 人に見せたり、飲んだり食つた。 というない。 した腹を、減らす為の散歩場に見せたり、飲んだり食つた

高橋八十六翁の 妥協案成立

た電田理事、片類がどう見ても であれたなくちやならんですか。 して来なくちやならんので元報 の見本市、選続の懐覚含を視察 がして来なくちやならんので元報 た頭後するつもりで、うんと朝 があいたかにく、都部階やら でなるかれたがんだんだ、こころ

現代新語大辭典

さは強縮野の恐ろしい効能、さ

いろは引大辭典

たまれて来 の内地位でう

北、戦力のたり、金のある者もないない。

議長が趣旨を承認し

・出發の前日事務所に変た見せ

總紙數一千五百頁電影

破天荒の大安値

白ベンキ塗の も其虚にあって、ツマリは色さ を基礎附ける、市館美の目館 が自然に町を駆はし、市の繁 る根本要素だ(難波生)

再考 歌院長は邵元神氏が低一命されん『寫真は胡 長館等院内に協議の容談なきに取ってはこれ以上の措施に保険に行かのから横原内に協議の表談に行かぬから横原内に協議の表談に行かぬから横原が変数なきに対する。この表談に行かぬから横原が数所に配送されては登正が数方に対いては数にが数所に配送された。この意識を取るだけである、この意識を取るだけである。この意識を取るだけである。この意識を取るだけである。この意識を取るだけである。この意識を取るだけである。この意識を取るだけである。この意識を取るだけである。この意識を取るだけである。この意識を取るだけである。この意識を取るという。

けふ婦人公民權案を上程

ン質問

貴族院本會議(三日)

連中の放送 [編員は霍田氏]

四體漢字くごと

金子委員長、安達內相に答ふ 選擧法案の妥協至難

がれれている。 全級であって家の徹底に至らやも がれれている。 政府の態度

湖南良要塞司令官 步兵大佐 林

五分間演説秘訣

[金元] 在

任中將

近衛歩兵第一旅廟長

府家な應該せの以上家の撤回出む 能版を見すに終ったが、就中学生 に関する甌にては政府は個府が政 に関する甌にでは政府は個府が政

選舉法案修正

安選爾氏の會見さなり

高橋琢也氏(交友) 登歌 の説明あり覚問のため八十六縁の らん一揺上程安薬内根より提製地は 抱

安達內相
一、今日の日本さしてはこの程度
のものが適當さ信じた
一、男子は四十年間二十五歳で辛
・ 男子は四十年間二十五歳で辛
・ のである、決して太子を劣等観
・ した譯ではない

生 ・ なは毛内新中粉はその供現版に留 ・ なは毛内新中粉はその供現版に留 ・ ・ なる等

投賣部

推近衛步兵第一旅喇長 第三師喇参談長 第三師喇参談長

也生活さの調和を圖るためである。 は家族制度の見地から公民されて は家族制度の見地から公民されて である。に基くものである。 に基くものである。

た 氏さ會見し銀道交渉に関する下打る 時より交通委員會において高紀毅 な 時より交通委員會において高紀毅 な 日本は 一日午後三

のなのは漸進主義

高、入江兩氏

ふ午後會見

動會の意間を纏め政府で再度指衛 日中に政府の風客に對する精査委 日中に政府の風客に對する精査委

項中刑餘者の項に治安 如き特別法を加ふるこ されたい されたい されたい

兵士二十餘名かして

議長の 首様代理、安達内様、飛線投鯨原 修正問題に關し政府は三日解除原、す 委員指名權 **冷水不調** の各派交渉會 れてゐる

本子より成党會の提索勘言でも 党會部本信光子座長の下に職會部 に二日午後二時より院内に開催が ・ 關に踏つて三

德川議長 に提示 委員氏名を 松平伯確定案として

からいたのは前にな窓内根が婦人ではんごうの一等国になれるこか、この問題の解決で日本は初めてほんごうの一等国になれることがはない。 案はないこか、民政際が經濟多數 我國ごしてはこれより大きい法律

★大森吉五郎氏〈富郷・北方部長〉 風邪にて引籠中の處四日から出 社の筈

電話

ち合せななすここさなつた『奉天

取氏の逝去に野し高橋氏白脂よりモンテ氏がで、次いで貴族院議・服安院次 ないで貴族院議・服安院次 ちちんのかい では、一般のでは 追加豫算案

蛇角

総無し、少のに五百の流日計覧大業 が、やはり雷は雷、やるぞ、やるで、大いにやるぞ。 が あいしもれが。南京だから戦勢だが が はいしは 戦勢さいふ 電響がある。

たまでは、 ・ 本金融度の日本の事。常数は彩が至めた。 ・ 大金融度の日本の事。常数は彩が至めた。 ・ 大金融度の日本の事。 ・ になった。 ・ に タッタ







貴院の形勢



日發」來る十日過ぎ發令 N人が玉を雕刻する方法は分らない、 で、昔の人は玉を刻むには込むい、 が、昔の人は玉を刻むには込むない、 をつかつたさいつてをるが、そい 大文字は大宮宮である、武造の陽氏金









周年御記念日

□ 國大部(三)に懐を打ち明け小椰の ・ 直譯で所有權称輕歌記を視けんさ ・ 通譯で所有權称輕歌記を視けんさ ・ で、瀬池のみは樂器や駅

サカロフ夫妻の公演

する舞踊の精華は観衆をして

人氣集る六日夜の協和會館

3

で大夫の競音氏に張取りがを交響 かって下さい」を満る人では大変を かって下さい」を満る人ではたま かって下さい」を満る人ではたま かって下さい」を満る人ではたま

日本の櫻に憬れ 伊太利の歌劇團

オペラはファシスト化せぬ 入連を通つて上海へ

を観察して帰るのを沙河口器以が、 を観察して帰るのを沙河口器以が、

重爆撃機が 無着陸で大連へ 濱松から一千五百餘キロを

四月中旬一氣に飛ぶ

では、大連館の無差壁飛行を計画中 を終、大連館の無差壁飛行を計画中 を終めたが、今回更に避 が、大連館のか館場合で表達 を終めたが、今回更に避 が、大連館のか館場合を計画中

1

旬

部を訪び種が

天氣豫乾

毎々御引立に預り有難へ御禮申

四日

村的建築さら 外務省に貸しつける 满

鐵で今春すぐに着工して

西通の叔父殺し高層賊一にかゝる殺した元同家の叔父殺し高層賊の合機さ組此を惨殺した元同家のポーイ林書春及び殺した元同家のおりてがゝる

が部に 保険は十八萬圏かゝつてゐるが が残つたので トを上受

水源調査講演大連商工

一口·· 关》拾四(蒸月拂込五四) 六回滿了 初面抽錢:三月三十日統 切:三月二十五日

工業檀細工購買醫買職催

高任販売日支公司 振替口座大連二九五三番 で 話 六七四八番 大連伊勢町(吉野町角)

を御利用下さいます、商品質に於

のからかんでする

魔を乗れ直接人港中の艦艇にぶつたか最近これら失業艦員が精質行 連にても総人を を着は唯一の戦り所である を意識合支部に依頼 見切りをつけ を動物をである。 哀れ無許可で處分

失業船員が

行商

受けるこさ、なった

安東署員を

交渉して釋放

なぜ法院長が苦勞するか

*大隊長が心よく不幸な二見を張 ・大隊長が心よく不幸な二見を張

あるのを属出でによりか河口響高 のを観りが本いによりか河口響高

で同署では近く繁里に送還するであるさ

する響

銀行ごの

解雇廣告

唯一ローラ

- ト場開設

金銭調べ

船二行き就職運動

賴りに見切りをつけて突進

▲響にて-酸に外人一名邦人

大学を出たばかく、一般性の報かは一部に対してもないでいるのが、関東を対してもないが、関東を対してもないが、関東を対して対した。 大学を出たばかく ないでものが、関東をでしたがないがその物に進渡し早くなどでしたが、日本でものが、関東をでしたがないがその物に進渡し早くなどでしたが、日本ではないがその物に進渡し早くなどが、日本ではないがその物に進渡し早くなどが、日本ではないがのである、森本院長された。 はいいのがは、一部では、大学を出たば、大学を出たばから、大学を出たば、大学を出たが、大学を出たいまからない。

特加像なんかに目も臭いで海外は 関東駅管下の記とでは、それに で観覧補充さなればその人選に 手を繰くこと一通りでない、それに 手を繰くこと一通りでない、それに 手を増くこと一通りでない、それに が内地と総一さればその人選に が内地とが内地の記とでは数判所構成 が内地と総一さればその人選に

春の陽を浴びて熊の散步

埠頭に上陸して小崗子へ

可な中間した

一名、それに書記一名も増員 一名、それに書記一名を採用に 出掛けます、裁判所構成法が統 一され内地さ共通になればこん な苦勞がないのですが……それ から新民事訴訟法改正後に於け る観察も兼ね一ケ月位の豫定で 九日頃出發の考へです いめ採用者 しての採用

を表示がならずまたが、 の教授では卒業後 では卒業後 では卒業後 では卒業後 では卒業後 では卒業後

大連商業學校卒業式は九日である來る十三日午前十時より舉行また

春の子供服特價品

豐富に取揃へてあります

大連イワキ町 電話三四九六

學校の第十二回卒業證書授與式け 卒業 式 大連市立 例生高等女

は廿一日 アスレチック

御御きを

新學

への進展は注目されてゐる

旅行用レ

ジ

學標

女子

セ

模様で近く玉城氏の擦見類止かる。 を符の驚寒(本)の金銭出紙に関 に取る犯符で金銭出紙に関係を 間に取る犯符で金銭出紙に関係を が、一般が に取る犯符で金銭出紙は複雑を のので、一般が のので、一を のので、 他を参考人と

各行の常該係主任を繋ぎ人として 関機察官に二日清郎、正隆、戦戦 戦戦

一下展の 一下展の 一下展の 一下展り 一下窓に取り消じと決定次で推蔵を 一下窓を要すとの新規定は反対を報数 一下窓に取り消じと決定次で推蔵を 一下窓を要すとの新規定は反対を報数 一下窓に取り消じと決定次で推蔵を 一下窓を要すとの新規定は反対を報数 一下窓に取り消じと決定次で推蔵を 一下窓に取り消じと決定次で推蔵を 一下窓に取り消じと決定次で推蔵を 一下窓に取り消じと決定次で推蔵を 一下窓に取り消じと決定次で推蔵を 一下窓に取り消じと決定次で推蔵を 一下窓を要すとの新規定は反対を報数 一下窓に取り消じと決定次で推蔵を 一下窓を要すとの新規を 一下窓を要すとの新規を 一下窓を要すとの新規を 一下窓に取り消じと 一下窓を 一下窓を要すとの新規を 一下窓を 一下窓を 一下の表すと 一下の表する 一下の表する 一下の表すと 一下の表する 一下の表する 一下の表する 一下の表する 一下の表する 一下の表す 一下の表す 一下の表する 一下の表す 一下の表す 一下の表す 一下の 一下の表す 一下の表す 一下の 一下の表す 一下の表す 一下の表す 一下の

購買組合事件

でいる音樂會、 でしてガイドは芝居での切符屋 でして対イドは芝居での切符屋 プレイガイド

裁縫と商業科の

間を増したい

高等小學女子二年生に

松原聖徳校長から申

プレイガイド

滿洲寫眞通信社

三月一日より開場

新案特許ゴム製二輪車ローラースケー 度 九文 宇 同 の 文 宇 同 大人

大人 生 準 大連市青雲雅二六番地 十五錢 四圓五十錢 大圓五十錢

ト服服 五錢 學生子供 一錢

清费

場所 敷島廣場

又もや不祥事件

中國人の教員や翻譯生が 共謀して土地詐欺を圖る

変見を預け

T

夫婦心中か

生活難から父母が対てる

閻氏邸へ

世界舞踊界の名星

も一日体質・観にサカロフされたい国にサカロフされたい国にサカロフされたの国にサカロフされたの国にサカロフされたの国にサカロフされたの国にサカロフされたの国に対力に対して関係が表現が、 は際フ線にし座がななななななななない。まれるのでは用の物 市會の追加提案

山縣通市場再建案等

三河

五日沙八

日表

モリタヤ

大連市役所では第五十五回市會に大連市役所では第五十五回市會に大連市役所では第五十五回市會に大連市役所では第五十五回市會に大連市役所では第五十五回市會に大連市役所では第五十五回市會に 昭和六年二月十五日山縣通小慶・大学十二號議案、昭和五年度一

市場火災により一部店舗焼失につき廣急補置さして股店舗建設 中一部追加更正し九百六十個を 計上) 計上) 計上) で、第二旗職案 馬長推薦の 件(日本緯属長さして于田保太 郎を推薦)

Þ

晚

限

月

友

大連工業會社の

高級社員を淘汰

雨森支配人以下六名

も窃盗罪で殊に同人は窃取した貴 金属類は購つぶして形を變へて使 用してゐた事まで自自に及んだの で三日一件書類さ共に法院に送つ

お土東生海展館止海中の野春飯会 計覧((樂部・) 記音樂舎鼠及び

小學生對抗競技の可否

中學校長會議で決定

別と五日繋から社員俱樂部事滿日職者に限り二個に優保額

ある『寫典は師ず

滿鐵の小、

要称監局が認識すること、なって 教育情察問題は近く滿鏡関東殿の ○ここ の程百五十噸級の分パ海洋丸、百 焼けた長春領事館 理想的に新築

社武六名を減次と聴客を新にとた に場き修察會社の整理に着毛とて るたが今間大連工業會社にお解がで のたが今間大連工業會社にお解がで 市學務委員會

| 大田下郷院中の市六年度康第委員會において小學校設五分前滅により市内谷小學校長は會議を贈さその市内谷小學校長は會議を贈さその より學務委員會を非公式に開催し反對態度に出た、め三日午後一時 京**染外交員夢集** 月收百七八十圓位本人來談 天神町二番地 大

原見夢集 電話六七〇〇番車込期日 三月一日より卅一日迄 画際級幼稚園 電話三二二番 塚

あまずの御の温を記れて酒店

原井は鎌工事職器 電六五四四隻 店員を御用聞に何はせがず

丁鐮業所



を整から十日正月、被の多い年が明けて、 できりを暖かになった。 春の旅路 ではあるが、加賀島のだは要木 が伸に入り、あの大野鉱を表向き が伸に入り、あの大野鉱を表向き ではあるが、加賀島のだは要木

で、三蔵の壁。 一行が、そのがへ融線を注ぐこ 非人だちに拉かれ、罪名を記らた 変化、裸脳に縛した服人を乗せ、

伏したら

も悲とい人世の別れがあつ の供養に共に戻る春の旅路 の供養に共に戻る春の旅路

濺

大大の様。とつが死しく叱ゅっとうが死しく叱ゅっとう

んだ鍵太郎

三月二日よう四日間限

人には大モテの家庭は圓

滿00

(202)

第五郎さ、千賀さ、一葉さの眼

作者附記 お蔭さ

小鳥の軽りさへ一部に悪かであつ一窓幌から陽光に巻け込む繋かさで 織太郎の方を

一類は悲しさうに眼を伏せて粉い一扇も、海吉の話が出るこ、白

は、一生を火催人足風慌で活さうか、ふ御詫があつたのをキツメリ退けか、ふ御詫があつたのをキツメリ退け ちちの一行へ注いだが、急に保練が、凝に盛つて、じッさそちらをが、緩に盛つて、じッさそちらを

B

である。慶つたと云へばしの概千貨、もう一人はそ

Ē

だは棒子から立ちなられに解左の は静我して慈安らうさするこメル 際際の時間が近づいたので現共 を憶

ルいて仕舞つた彼女の中なり長い間がしいではいいて仕舞った彼女の中なり長い間をはしいではいっていいではいいではいいではいいではいいではいいではいいといいではいいという。 大き は 一人のみの疑問では無いと思ふ (奉天の兵舎にて) 「本天の兵舎にて) 「本天の兵舎にて) 「本天の兵舎にて) 「本天の兵舎にて) 「本天の兵舎にて)

▲新興アシャ味識のニュースによ技師はその後消息を絶つてるたが

おささした壁が得られる事 ときさした壁が得られる事

の大人氣筒

高 倉 秘獨變製

老萊

長 霆 生

及 在 子 欄

孫棧

千五番 不蓬

加上公米出到 リチャ

B

連

筑後屋笛店

洋服類舊裳

內母乳代 治明 品用

御婚禮用御履物は

发浪 山 町 内 Ξ 電履 1 話事七比 目 ٨

本立て通了酸い電信の現れから 脚電の要木銀太郎への概能され がはよりの大事に果酔ない最後を塗 がはよりの大事に果酔ない最後を塗 がはた人養鑑が紙の傷様、一生の選 がはた人養鑑が紙の傷様、一生の選 がはた人養鑑が紙の傷様、一生の選 がはない、 その難に、加賀高の華合春、三里中遊な一本ぶつ込んだ身ごもら墨中遊な一本ぶつ込んだ身ごもら墨中遊な一本ぶつ込んだ身ごもら

の離吐水持ちの金次に喧嘩賞人の かんだい かんしょう しょう かんしょう は見まりご見える三人連れ。か

云へば來るに決まつてゐる。

サ

カ

フを迎

へるまで

さう 人思ひ切つて、こちちからのが問題であつた。けれざ或る日本の金を何處から出てかさいふ

星

野行雄曲姉妹篇 コマント 起特作パウドールブスの悲劇

三日

大日

御相談に膨じますの

新村大五町四番

丁鑛業所

SPATHE-BABY9 MASPATHE

は「記狀行動直忠」書映藝文大でし而藏惠千ゆ燃に望野督監の匠巨るあ評定さ作原きしら晴素

姿む惱に成完の己自の實真が卿直忠間人つ持を瞳の疑猜てし對に象萬の會社・りたで出に世

衛援は無無

工事の御用

BABY9 5-PATHE

高

整督片岡于墨藏主演映画(大日活上映) 整督片岡于墨藏主演映画(大日活上映)

すために飲む▲あ、飲まれては上 にはっぱわからのゴシップで駆け つてるる

廖

先指は命生の私

*代時感ロエ端尖娘

<br

突破戀の

跳ふさ云ふ時には並派なフォルテ

という でから ないんでから

戦に緊撃破死者にさつては全科 得られます。さ

が死んださ言つては飲み▲點

殊のよい もしろく 0 三拍子揃った 忠 血 村 勇

度使へばきつど御氣に召

南町河三場広西市連大 後0-四五話電

直鐵

道

營省

F

關

ihi

治百一 夕連

金金ま

錢錢

PATHE-

電話四二二九番

0

行

かっ ら夏にかけては

が同点

BABY9 SPA

その樂しさを増すには効果一〇〇%の 私達の一番樂しいシ ルミリ牛の 山に、

カメラ とに愉 行行ス行 通通九三

夜は寫眞機で映宮

賣

E

濱速町三丁目 連鎖街銀座通 で撮影

畫はモ

るそして映寫の時の御家庭の皆様がスクリー

E-BABY9國5-PATHE-BABY9國6PATHE-BABY9國

に表はれて來る時の愉快さ

初めての方でも使用は簡單で誰方でも樂に撮せ

百パーセント實用車 、圓五拾錢也 3 1 年 式

コール天服小量生用三十段より

小

行洋氣元 ^{通橋賽心店商鎖連} 賽六一===電

カタログ進呈 (大連渡し)

大連市伊勢町日本橋南部 電八〇九七番 支 店 沙河口仲晦五七 電九二五〇番

社會式株菓製治明

銀行との關係

鞘取りと思惑の

話

銀問題と大連市場(日日)

戾稅廢止問題

對外貿易

指示を仰ぐ 關東廳本省の

減が目につく

| 東京二日登|| 大郷省養表、二月 | 東京二日登|| 大郷省養表、二月 | 一 九八、六五〇

日

其のうち

炭界不況は底か

はて、 はない。 はな。 はない。 は は は は は は は は は は は は 問還をなすさ

内地炭價は目下强調 大豆 二八七、三二五 (内混保 二二六、六七〇) 昨年比 〇一二七、一八五 百粕。一四、〇〇三 (内混保一 三、三六三) △一一、一七三。 一八七、六五七 の一六七、九三四 九九、四四〇

旱害と豪雨

祟られた農作物

昨年下半期の

大連民政署経済の農業権況は左の
を下代期大連管内農業権況は左の

の動くない、今各作物にして減ぬの悲境に終る豪雨に崇られ遂に簽

百貨店競爭

中国貨物ご船 端緩々道部底際影響になる昭和 大年三月一日までの五年度準減緩 が輸出入在資販

意物。 ● 八〇一、三四七種 輸出 一 八〇一、三四七種 輸出 門 七五〇、〇九三連 前年比 ○ 八〇一、三四七種 輸出 一 八五三二、五二一連 △二、一 五七一四八四連 不貨所數

選り、金融 を選ぶにお

金

先當

四下協科 新品三三古

大醫

表 · 棉

大

花

政策を持得たか。

よう、しかしてらい

積るべき歌浦 僧覧す、歴代 をいもさられ

◆…在端邦人よ大いに をもて政府電局の無線力に 自分自身の無線力に ほるべした。

七六五四三

三二二二前 粕

銀 二烷枚 三烷中类面金 人番枚 三烷中类面

但大馬町市

商

爲替相場

株式。御販引#山田へ

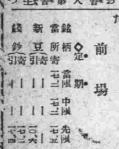
大連株式商品取引人

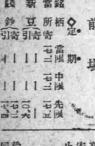
八七六五四三限

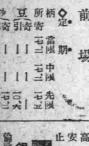
市況

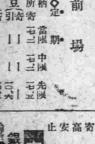
內地株釘付

株







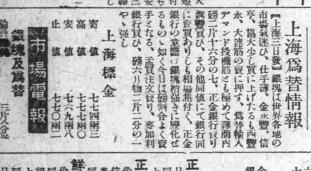




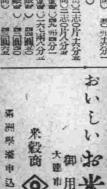








	100	一利質せ金	间
新 の の の の の の の の の の の の の	信用付三月買(同)素米國向電信要(百圓)素米國向電信要(百圓)素	正金(銀樹定) 日本向多着質(銀寶) 空風。 同十五廿質(同) 鹽風。 上海问参着質(銀寶) 岩(兩)	



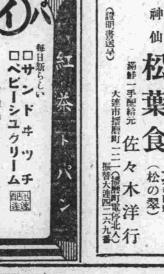


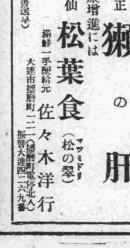


お安くお泊りいる。 電話二二六五七番 電話五八一六番 では、五八一六番

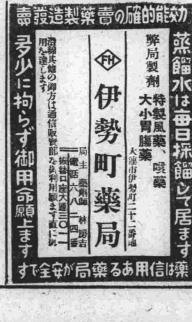
OOH 紅茶、 サンドキット ノリカを整橋 マ ル ムチ 個ELL 達速















いまず機御順しまず「一の左で有りまず何卒多少に不拘御用命下店が蔣鴻唯一の左で有りまず何卒多少に不拘御用命下店が蔣鴻唯一の左で有りまず何卒多少に不拘御用命下 金網製造商 西 村 電話七六四八番

をそれた。一点の子間で をそれた。一点の子間で をそれた。一点の子間で をそれた。一点の子間で をそれた。一点の子間で をそれた。一点の子間で をの七千八百十一萬八千間に地し 七十二百九十萬四千間の入経滅で ある。なほこれが内容を昨年同月 では少の増加を示した外でれては米が三記に に地すれば輸出にては米が三記に を表現る。 品 出 二七一四 二七一四

激減を來す

の輸入

一九〇、四三七

三百二十七萬七千圓を何れる遊歩

歐洲向大豆

0

一七八、

二二五五

る浦織販賣部の産談会

運賃市況

强調を呈す

大連商

0

一十十七五三現

性質と活

動

◇引寄引寄 号。

大連商人の

オプペムロゴー

銀安購買力の減退ご

輸入税率引上の結果

男 年度鐡道戦入標算は客車戦入一千六十四萬六千七百圓、鷲車戦入六十六十四萬六千七百圓、鷲車戦入六 車戦入其他二百九十七萬五千五百 一千三百五圓にて前年度にゆし二 一千三百五圓にて前年度にゆし二 八萬 一八三百五圓にて前年度にゆし二

流溯大豆の歐洲市場に於ける懷紫 につきロンドン發寒所養の懷報に よれば歐洲行大豆の運動市況は更 に選鰈を娶し、瀧鵬三月龍二十七 志、四月龍二十五志、七、八、九 志、四月龍二十五志、七、八、九 七片を鳴べて居る、大連郡四月廿 七片を鳴べて居る、大連郡四月廿 の成績があったさ 船舶數ご噸數

別度敷並に噸敷は左の如く だける天津及大沽出入船舶の國籍 昨年度 | 1.12 | 1.13 | 1.14 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 | 1.15 1118 さつて活躍してゐる、そして上海が 三二 さ呼ばれてゐることを念のためい 三二 さ呼ばれてゐることを念のためい 一次 ひ添へておく 一日 マー・・・何が これら特殊の要要 「於 ひ添へておく 日本 でいふ大連問人は大連では上海筋。大

東東銘

式

起放は正反

鐵

株(保合)

▲東短前場 本東短前場 本東短前場 本東短前場 本東短前場

二回に分け

ゐる(ハルビン發)

州内の棉花栽培

採算外れ

に陷る

年々衰微する傾向

哈大洋增發

料品雜貨部信濃町市場食

最初は七百五

金組を組む

三 大学通り支那經濟の中種かなして文字通り支那經濟の中種かなして文字通り支那經濟の中種かなして 三位たる天津の九分療を職然保職に近く一割三分内外を発吐し、第同じく一割三分内外を発吐し、第 は鴛鴦流通上、大連、上海、内地東を成立せもめてゐるか、それに 版大連銭勢市場でたつが、これも成 ・ 金融の特異性なごによって裏だー に ごしない、これでは、一次の上ででは、一次の一での事機性などによって裏だった。 は り耐地間の銀綿替根場の機能における銀 地 国相場が金新銀の價値においては は り耐地間の銀綿替根場の騰浓如何 によって全新銀の價値においては な バリテイに立ったことでも、矢吸 によってを新銀の價値においては の 二つの事でが大連酸人に禁 で ことでしても、矢吸 によって表が一

安高引寄同 豆 當 3 値値値観期 新 所 第 先中當先中當

安館

東

●上 年前九時出戦、華山丸 三月四日 代理店

||日清汽船|||出帆



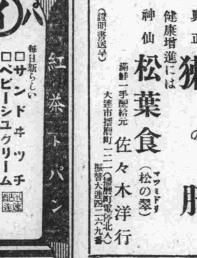
は政府管局が	人をいぶ		/座	1
政府當局に對する鞭撻も解釋。在滿邦人の合理的な要望も又	車號:	言葉を聞く、在滿期で て依頼心が强過	邦人の不振け	の日から「満洲
	め、株	合現定 合現定 計物期	株	續新
新も十錢高ご内地主力が高下を示し東京	式	al 430 591	式 出來	引寄 二
地東京はまり	雜	四一二	高〇二	

上ひ金でたさを寄る	L }
イン で で で で を に で に を に で に に で に に に に に に に に に に に に に	
東に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	八三五〇枚枚枚
九八七六五四三限	先中 當
月月月月月月月月 阪	限限限
三至三三三四四四 40	一一一型.

1	0	li-dr	時	13		番組		Н	- Total			П	線	日報	R II			二曾		
共同汽への	職さば貨物聯絡取扱致候 末 行 長山丸 三島四日正	原威海河(第廿一一	衛、仁川行(共同丸 午後七芝罘、威海(第卅六 三月九日	青 島 行(共同丸 午後七之果威海南(第十六 三月五日	三阿波共同汽船	電話六二七·六一八 松浦汽船株式會	大連市加賀町三〇	南、仁川行 利通號 三月六日芝罘、咸海	大連、仁川線(定期一週一回)	道、今治着三月二十七日	門司着三月二十六日	ノ道与治行・勝國丸・三月芸門司字品尾・勝國丸・三月芸	多暖縣廳命令定期 大連觸戶內	安東行 連勝丸 三月廿時東臘合定是男 大到後身前日	芝 果一行 福壽丸 三月四	が通いでは用た態を表象	三 公前三名大車出山	代理是 大 三 階 4	市山縣画一五三	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
66	多公	6	0	• •	量	艺艺	引	(0)	美	五五	91	(0)	1	[] ②m	(O)H	日田田の	き	芸さ	錣	
三三	三英色	18(糸	×	= =	前場引	米	7	「七九)		米	2	前場引	江	=	⇒*	⊒ =	iii	
美容	景高	元の		前綿	会	元元	前場寄	期	乙 量	美美	則場寄	期	1	前場寄	株	1130	11840	11550	果新	
			1	阪				京			ate	阪	先		東			4	W 3	9

	100		12.00	- 5	
電回六八九一。五	阿波國共同汽人大連市山縣通二〇〇	津 行 長山丸 三声四三正	殿海河(第廿一三月八日七川行)共同丸 午後七	宗、威海/第卅六 鳥、行(共同丸	波共同汽船
阪神航	專屬荷		神門司	3-840	●名 古口
路	永取	-k	P.	施	1 119

10 10 Out of of man Bar 1	п
原六 八會 月 月月月月月日日音音十七四 1 月 五月 廿 十四 古二十七四 1 月 五月 廿 十四 二十四 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	● 惠尉帝摄所(大連市山縣通)
一 神 健 原 各	1 0



健康増進には 0

商品素

清清清清清清清 北五二十七四間 山山山山田田田間



店商含支澤藤社會式釋 二町修道阪大

リアニ店業 品数化 草煙

高橋熊次郎氏(致)政府の

三時間に三る

長漫談演說

高橋氏の嫌がらせ

日

原物兵衛氏(政)現内閣の軍要政策なる滅稅案の討議に際軍要政策なる滅稅案の討議に際は開かる不真目が出席せぬさば何なる不真目が出席せぬさば何なる不真目が

四十分体態を覚す、野驚は歌呼をといいのでは、野際に反駁するが野際動かす遮にの下のでは、野ないいのでは、野ないのでは、母は、野ないのでは、野ないの

山忠二郎演說筆記

命

VZ

野黨の撤囘動議

を否決

人臣の出席を要求して

悶着

貴院に上程

けふ減税系

元來新聞紙は社會の出來事を言は最も監接なる關係をもたなでは最も監接なる關係をもたなでは最も監接なる關係をもたな この機會に私は納閉紙の使命に関して、愚見を申述べ、腹蔽なき陥れの御批評を窺ひたいさ思ふのであります。

て五ひに相乖離し、社會は往々にして新聞紙を厄介者視するのであります。そうして新聞記者を敬遠するこいふ聞きがあります。近来この傾きは大分改つてす、近来この傾きは大分改つて

倫敦條約でない

井上藏相の答辯

に係る影響外交鞭蛇状襲楽問題に

決議案 對露外交鞭撻

英一 相 婦 國 英一 相 婦 國 本成立せられた 変い (ボリーニ 日 変) (版、保 変 重 線 に かいた 変 を 成立せられた 変 が 概 へ ン ダー ソ を 成立せられた 変 が 概 へ ン ダー ソ を 成立せられた 変 が 概 へ ン ダー ソ を 成立せられた 変 が 概 へ ン ダー ソ

今明日中に

「では、

「では

これにて通告者全部の質疑を終り

内に定例閣議を関き政府提出法案。

定例閣議

で 陸軍運動部が長殿が設助中縣は石 で入港の武昌城で天津より來連し たが神まで出现へるミサロンで認 たが神まで出现へるミサロンで認

こして 、 入營者職業保證法案 一、 入營者職業保證法案 一、 勞働者災害扶助責任保險特別 會計法案 一、 朝員保險法案 一、 組員保險法案 一、 組員保險法案

、營者の職業保證

きのふ閣議で保證法案を決定

一切ない では、 大いで町田の村は、 の大家を決定、 大いで町田の村の大家を決定、 大いで町田の村の大家に関する場合が、 大いで町田の村の大家を決定、 大いで町田の村の大家を決定、 大いで町田の村に の大家を決定、 大いで町田の村に の大家を表しません。

近く議會に提案

の旨政府鵬にも同意を求めたの音政府鵬にも同意を求めた

多数の委員適任者を選び職長の 手許に提出す で員数だけを選び之を指名附託 す

隨特別委員會

賃銀協定

交涉延期

隨各派交涉會

は三日より登院することとなった『東京三日番』ならく持城の監診

けふの貴族院

公正調質會

鈴木翰長登院

調停案を承認

政府、立花種忠子の質問に答ふ

貴族院豫算總會三里

数の退營者 「東京三日登」 散院の重要法案 「野する特別委員邀任第に教主機 「野女百集し職長職の繁さして 一、重要法案に関し九名以上の特 別委員に附託する場合各派は委 での接り職長職の繁さして

科會を開くここ、なつてある ・ 原東京三日登 四日の歌院は午 一前十時より本會議を贈き被税款七 医 が行ばれるなほ十時より歌節あつて覧職 が行ばれるなほ十時より歌節を開き被税款七 医

日支聯絡會議

昨日元宵節の街

仙石總裁業務視察

三井氏執拗に質問 南江鹽移轉費を衆議院で削除されたが復活を圖る意思があるか 又この移轉は中福院に踏つてるか されたのだから政治の大局から 見て敢て的就とない、中福院に は踏つてるない は踏つてるない。 員會 米穀法 改正委

即特別會計法中政
正法律案 大を代表して野香のでるこでである。

國民會議の動向

わが外交方面の觀

三分七厘、三十 松田 拓相 中福院の職に路つて居ないのは事實である。このの十六年以前に 「電型のため朝鮮統治、内鮮融和十一年までに 海型のため朝鮮統治、内鮮融和 を 「一手」、 海州は随時必要な時に制 機つるこ云つたがそれでは工業 能力の維持は困難である。このの に支障なきやうに考慮する。 このの に支障なきやうに考慮する。 このの に支障なきやうに考慮する。 このの に支障なきやうに考慮する。 このの は事業が表して、 大変回りは事ま者をひまります。

目さる

の戦恐戦が東で通過したが山下の無意味を知つてゐるから成立戦争小帝五郎氏と共に二日當地着軍協定も財界の不況で建艦競争所の令息知彦海軍中佐は戦斗の實施を知つてゐたが海路の小児では他間題となってゐたが海路の一

を附して原案を可

| 大学 | 1世界 | 1 世界 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1

店地生白涤京紅丸

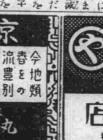
て 入江公所長さ都氏さの鐵道連和實 書 総総三等に関する交渉は三日午後 時三時東北交通委員會に於て宿はれた響であつたが胡氏は表だ學既氏に職會せず其幣的交渉も出来ないこいふので會見延期を収めた総、十一兩日會見を延期を収めた総、

はるびん丸船客

高貴九名な後へ三日二十二時四十 西分養 列車で 赴連した 『奉天電』 話』

金銀流出入高 喹

鉄を添ふ



野歌 大の答案がは、 園 は、 関 は、 の では、 の でいる。 の

を代表する程の存在でもない」と を代表する程の存在でもない際だ 要するに「我が司法権の持つ感激 を代表する程の存在でもない際だ

見送らんさする試験は門の内外に 殿車は準備せられ、男士の競後を 屋外には二人を飛場に選ぶべき

死が、 は電子共に報んで、 ウォッカー のかが、 こ

現內閣諸公

大民席に、他の白い上品な顔の

通じて

觀た

ちいものだ。 たも其の端に越て野でけるから世の中はよく出來て居っていまり、 極めて無難に

からも、非常に遠慮されて居る。大も此の人がラチリさして居る。大も此の人がラチリさして居る。大も此の人

を 不動れな家様である。 ・ 大学が無いでもない。だが大性に受けてきた順れもある。 現に楽意機會等では、多少必要以上に楽りすぎた幅が無いでもない。だが大性に影響を でいまり は、多少の変が身体である。

何

が歳に同じ食金、

大阪地方にて製螺数の玉代のことを 大阪地方にて製螺数の玉代のことを 大阪地方にて製造してある。が出て来た影響は

は時間がなかったのでは、それが なに総常に火をつけて、それが なに総常に火をつけて、それが を八本さかったので時間を勝 である。他に今は一時間の本数 である。他に今は一時間の本数 である。他に今は一時間の本数

松に一致代

0

栊

故に 花代 玉葵

と陸海相と

意も出来て居るのであるから、能容は、然ずしもそれ程でも無いの だが、解分一般に光入主があるの で、野驚は「また解かアツ~~ で、野驚は「また解かアツ~~ で、野驚は「また解かアツ~~

をない。
をない。
をなければ、
造花を買った代金で
となければ、
造花を買った代金で
た、その報酬代金を言ふこさであ
るこさは、
整数七級和承知の事態。

桂

泰 兒

電は士君子の口にすべきこさでは では出來ない。案するに、か、る さは出來ない。案するに、か、る

に線管代の條をしらべて

語

日

金を記載せる解あり、既に二萬駅 学は三民主義ル基調さする國民監 の野楽はアルチョアージーの表動 に鑑賞する香具師に使たものであ つて最後の砂粒は反動軍閥の存在 する限り終意を告げるは必然であ する限り終意を告げるは必然であ

の組織を行び、武力による共産革 地方にありては所能を破るに既構 地方にありては所能を使成し共産 地方にありては所能を使成し共産 地方にありては所能を使成し共産 を被心さして書い数を破るに既構

ト中國中央共産党が心連続し一九で現代においては上版のソウエー

0

共產黨

野な、その一所は滿洲里画域に かり中國共産黨の援助が存在して る。ことは幾多の事職によつても

◆…一日附貴級本職の関東職組合 ですが確左の無事にも特に一般 ですが確左の無事にも特に一般 ですが確左の無事にも特に一般 大連東郷町 田 中 生

◆…さころが悪傷所質緊西亞町の をは其脳さか異にしてるます。 方見は唯の一人で電話の態態。 が那條鼠の指揮、際質者の代野 が那條鼠の指揮、際質者の代野

一般で、親は日本に、老たる母さになって、再び司会院に向って になって、再び司会院に向って になって、再び司会院に向って

か

(8)

日案内

牛乳

0000000

型 並 高國 立 治 國 参 國 國 五 拾 義 義 國 五 拾 義 義 最 國 五 拾 義 義 最 國 五 拾 義 義 最 國 五 拾 義 義 最 國 五 拾 義 義 國 五 拾 為 國 五 拾 為 國 五 拾 為 國 五 拾 為 國 五 拾 為 國 五 為 國

不用・島原質入海線次第参上・美濃町七九番 大谷 商店

三拾錢增

り、慶西系統將却院の残部邊域に の勢ひは軽減をゆるさね。 現品の変付等を連帯なくやって を正しき取扱いた公司してゐる を正しき取扱いた公司してゐる を正しき取扱いた公司してゐる を正しき取扱いた公司してゐる この事實についても

人の耳に馴れ

いに立った。 いたでつれた。 を変奏

連鎖街西野帽子店・一名至急入用

西通三五

(蘇斯)一日

と電話ニーへ六六

江に駐したが、美人の女薫貝胡 第の餌さなり共産黨に加入した 前年率宗仁が湖南に入るや彭は ひそかに密便を送つて改編か請 ひそかに密便を送つて改編か請 がきのできばを宗仁が失敗して ができに至るや彭は長沙な藤 であるに夢は本宗仁が失敗して ができに至るや彭は長沙な藤 をしたざるに至るや彭は長沙な藤 红 夕日

女給

女中

一 看護婦採用本人來談 內田醫院 電五六五八番 數名至急入用

◆…注釈和内の牛蛭は縫へ沿線 を ・東鍵の一九三一年度のひまに した防疫區域の擴大に供び監局 した防疫區域の擴大に供び監局 した防疫區域の擴大に供び監局 に大本院を協めて居るに安ひ監局 に大本院を通過したが、昨年 度の襲築戦人滅の脱さが多い でのいまする。

は目隠しの郁を二

來 狭 兒

で懸す、真の愛園者、真の船園者 ではつて、邦家の為め盡す處あれ では、東家の為め盡す處あれ では、東家の為め盡す處あれ では、東家の為め盡す處あれ

に當て、耐か供する、神の前に立った。 総行官は、手を以て 動行官は、「夢を以て を を がで記さりことで を を がで記さりませれて を がで記さい、 を がで記さい、 を がで記さい、 を がで記さい、 を がで記さい、 を がで記さい、 を がで記さい。 を がでいる。 がでい。 がでいる。 がでいる。 がでい。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでいる。 がでい。 がでいる。 「爾等は此等不幸の

吉田洋行

理常陸町山本四郎電交乳 大東 電話四六九二番 大大郎 電話四六九二番 で太郎 電話四六九二番

薬は 太郎電話四六九二番太郎電話四六九二番

持田順天堂/電三二〇九番 対鮮總督所官製

電話四六九二番

モミ 熱治御望みの方は、

産婆

加持報書

ツーリストビューロー 大連市伊勢町角 電5554・4713街

店支七又林小 春一六一六表代話電

通座銀街鑽連連大 正是江河山山

四四九

御一報次第直ちに参上致します 一 大 チ ク 電二二〇六六 一時間修繕 大連西道·常盤語·西崴場中間

濟生醫院 電話セハ六七 病

電話二一〇四七番電話二一〇四七番

一音問答

専門のヤナギヤへ蓄音器修繕は

ブ治

奉新柄 0

鏡眼 番九五六七話電 番七八〇四連大替振

活 归 **光烟醫院** 0 0 0 0

版 院 四。四三二

醫院

ぞ そく治療 傳家 德 上对 松尾紅川

質別最出さして差上げます 国力クマン特油登費 国力クマン特油登費 上げます 国力クマン特油登費 万 拍が 若狹町交番隣 子揃 理徳何三丁目電話九五四五番 7 の方に特製すりかそー 地 三側三十銭

賣特付品景

婦人小供服生地 新柄ケンチュウ 栈公荥德 地掛二十七四速浪

梶田 一見科醫院

御用命の程御願申上 陸續入 2 電話五四〇九番

なる、その一般は満洲里園盛に を種の書籍についてもその養送地 が波西さあつたのでも知れるだら が波西さあつたのでも知れるだら が波西さあったのでも知れるだら でつゝある彼等共産黨の第三段階は でつゝある彼等共産黨の第三段階は 精成の中身に喰ひ込まんさしてる 郷運動は東北四省の練踏ある政治

中部支那 リラ 全線の統一依然困難 0) を繼續 共匪

事討伐軍輜策隊の一員さな られ四十餘日間共匪の中で た某氏の談 は全くの属りである。は全くの属りであるから三十元の月給されのであるから三十元の月給されている。

地主富緑の船職土総勢地が緩をスの襲村草命の銀頭を心條さして成

かりの供給を使たればならなか がからの供給を使たればならなか がからの供給を使たればならなか がからの供給を使たればならなか でった。共興軍は環難は納乏してる がからの供給を使たればならなか

が、 第一派さよくない。 独君の中壁としてある。 野師の中壁として忠磐の信徒も 日低してある。

◆…一日の東巍地方接筆をは二九 ・一日の東巍地方接筆をは二九三元 ・金智繁哈洋の擬翼率は二九三元 ・金智繁哈洋の擬翼率は二九三元 ・大変した。それよりし暴落す

であるが解放に花代と言ふか、其であるが解放に花代と言ふか、其 又は「花代」でも言ふっ 20

を言ふ。 を言ふ。 を言ふ。 を言ふ。 次 に「玉代」を見るさ、 ** 「健か欲しいこ思ふものは無いかあるならば遠慮なく云つて質の度 5、出來るならば人浴させて頂きで降った。神が

水を持ち残らしめ、電気具に配って、一般普通人の入浴する事等は悪ひもよらのさぶふ既然であったが、記念電はべきものでなかつたが、記念電はであるによいであるが、記念電は

一人に遠慮なく鑑を激めさせて まに地して、関郷に赴き、寛に和野・中山野・地首を慢にして薬に入った時の世界の地方を慢にして薬に入った時の世界の戦き、寛に和野・田田村の六人、身を滅毛の戦き、

或は蒙古人の兇

寫眞

の御用命は

萬堂電話七八五八番

傳家

\$6

其の見た流家の

心置なく死出

譲店 国下盛業中が

邦文

連市タイ

通應イ

「聖書山上の乖闘を顕識して貰ひ 、整書を閉ちて動し歌端し、横川は歌中に起へられた。

地震とは、 一般を できない。 本に 一般などの できない、 本の答案を はこして有力な には いっしん であるが、 まの答案を りは 一可して あるが、 まの答案を りは 一可して かんし 一部を の しょう がない。 かん は いっしょう がない。 かん は いっしょう がない まい かん は いっしょう いっしょう は いっしょう いっしょう は いっしょう いまま いっしょう いまい いっしょう いっしょう いっと いっしょう いっしょう いっしょう いまり いっしょう い いっしょう いっしょう いっしょう いっしょう い いっしょう いっしょう

終記日間はある文明が

本マッサージ、電氣、熱氣、乳腫、 家、乳不足、光線治療 事質特許、東京理學療院創製 治療で滴洲總販賣元 大連市西公園了 本病の睾丸の関節の痔疾のロイマチスの婦人病の腹の細痛。脚気の基本なり 性験は國家興隆の基本なり 大連市浪速町五丁目二百一番 家ハリ (大連液番胴 大連市浪速町五丁目二百一番 家・リージ、電氣、熱氣、乳腫、 大連液番胴

三チ ロバン 電話六六六〇番

牛乳

古着版町

皮 軟 た 性 毒 病 病 病 病 病

-DID大電·五二町野吉連大

玉橋保健治療院市西公園町一五三

八津川商店













世

仙庵堂

旅館と戦頃土産 一様で着に取って旅行中最も観点 が映響では、旅館の警察であら をいては又市の發展で高さは掘り が映響に注意し、常に旅館の警察であら をいては又市の發展にも影響であら はすを以て、旅館の警察であら に響くものは、旅館の警察であら が映響に注意し、常に旅館を響か及 に要した。 に要した。 に要した。 に変した。 に変した。

(五) 行泊者に對しては、後日時期 た見て懸切なる曖昧を差出し、 勝來の信用を維持するさ同時に 「動態職事務所當局さ協議の上適當」 の職職宣傳を講すること。

等が旅館の改善のために是非必要

注意た携ひ、珠に風呂及便所の 清潔を調をこさ (三)各旅館等に関體の東迎を為し、 の別なる定むること。 の別なる定むること。 の別なる定むること。

地各館南案内所さ連絡を取り観察

配が 最級旅艇に売りて管理し、 をでは、大連を観察して時間を では、大連を観察して時間を では、大連を観察して時間を では、大連を観察して時間を では、大連を観察して時間を では、大連を観察して時間を では、大連を観察して時間を では、大連を観察して時間を では、大連を観察しています。

そ内地よりの視察院は先づ朝鮮をむること、しなければならぬ。凡

運賃問題再燃で

兩

代理店の策動

結局値下げは困難か

のニュース

満洲を先にして、朝鮮を後にす。 何故ならば、

総関品にからて を実、新る州港に を表したして ができなって ができなった。 ができなった。 ができなった。 ができなった。 ができなった。 ができなった。 ができなった。 はおきなった。 はないる。 はない。 はないる。 はない。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はない。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はない。 はないる。 はない。 はな。 はない。 はない。 はない。 はない。 はな。 はない。 はな。 はない。 はない。 はな。 はない。

ことの旅殿に一般することに配て

旅順民政署長

の便宜供奏方に付、常に協議を一つ旅館組合に於て、職職視示者を持ちが立て、諸般を取らればならめ。

エーロー及内に旅で滿銭會

か。此の意味に然て、旅行者は北北路のボイントを掘らなくてはなられてはなられている方者は精神飲い。

電観の如何に依つ

学の観光歌におきなったと、 「はお水の含め輸送が はお水の含め輸送が はお水の含め輸送が はお水の含め輸送が はお水の含め輸送が はお水の含め輸送が はお水の含め輸送が に依ては本機運設に 低下遊に依ては本機運設に に依ては本機運設に に依ては本機運設に に依ては本機運設に に依では本機運設に になった。 を破壊される事さなった。 を破壊される事さなった。 を破壊される事さなった。 を破壊される事さなった。 を破壊が を変するりに を変するりに を変すると、 に成さが楽なきものと舞られて はいたを楽して來た 大陸満洲のをも撃三月の発を降い 何きな を変するが にでる、 を変するが にでる、 を変する。 を変する。

であたかで人畜には被害はなか であたかで人畜には被害はなか であたかで人畜には被害はなか であたかで人畜には被害はなか

撃である

經理候補試驗

(日曜水)

るが野蛇となりと傷をすってある事に借ってある事に借ってある事に借ってある事に借ってある事に借っている。 思味通の官数きな得たのも電

大す でよく婦人の融響を関しるが使しる野館 本年焼酢・ 大丁 木 でよく婦人の融響をしてはもつて り高眼科響長の手で祝はれた保護 は、かありその販路がに続いても農物 人耳四十二名目向園長離低後臨識 十 では、「一大」では、「一大」では、「一大」では、「一大」では、「一大」では、「一大」では、「一大」では、「一大」で、「「一大」で、「一大」で、「一大」で、「一大」で、「「一大」で、「「一大」で、「「一大」で、「「一大」で、「一大」で、「一大」で、「一大」で、「一大」で、「一大」で、「一

近く組合を組織か

既に十五名に達し

養兎熱盛ん

普通學堂

在無名小母校児童の優和熱性財活 が外の一般希望者のなどもろがそれ が外の一般希望者のなどもろがそれ が外の一般希望者のなどものがそれ が外の一般希望者のなどものが がいこ歳が主土歳位のが見には極い カだ料かられたが安全であるが をテスト施行 四二午後一時から

世際に移航空倉に出版の含め三日 上頭に移航空倉に出版の含め三日 上頭に移航空倉に出版の含め三日

皇子殿下の場合は長聲

内親王殿下は短聲

慶事報知

哀れな不況を物語つてるる

所派出所社伝より、
雰囲山に於ては去

日祝賀方法た協議が乗り御慶事の 職員とたが左の通り 111月十一製電見は、 答: 125~1十七日午後
本規揚と午前十時神社に参拝東
本規揚と午前十時神社に参拝東
を放送に陸軍記念
宴を開催す
でひ正午より倶樂部に於て奉献
写の近年より倶樂部に於て奉献
写の話とに対方の通り
111月十一製電見は、 答: 111月十一製電見は、 111月十一製電見は、 111月十一製電見は、 111月十一製電見は、 111月十一製電見は、 111月十一製電見は、 111月十一製電見は、 111月十一製電見は、 111月十一製電見は、 111月十一製電用は、 111月十一製電用は、 111月十一製電用は、 111月十一製電用は、 111月十一製電用は、 111月十一製工具は、 111月十一製工具は、 111月1日に、 111月日に、 111月日に、

皇子殿下御降謎の場合 長撃一般に報知す - 神吹鳴・ 短撃・ 記の方法に依り一

午前六時に前記方法により報じ午後十時以後にありては翌

渡邊事務官

富二及翌日の二 、御慶事の報に 養成を三唱も奉 、御慶事の報に

歌の意を表すること間各戸國旗提 一日間各戸國旗提 一日間各戸國旗提

臨み三日は涌蒙地郷、東亞輝草曾は無脳往後、同夜は浦鑓の揺戯にを同夜ヤマトホテルに一波、二日

日露協會學校を

巢立つ三十二名

就職者僅かに二、三名

本 地 (人名) では、 では、 では、 では、 できない。 では、 できない。 では、 できない。 では、 できない。 できないい。 できないいいいい。 できないい。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できな

を 来聽を希望するさ を 来聽を希望するさ

| 一部で行ばれたが忠顕著四名にして| 単生の候補者試験は二日から軍司会

れ種學す事はなで他は

評議員改選

本年の 産売が終してある。 付につき としてその金額はそ人が貯金を設め、 一日を開放したする都人を数でする からの者人は筋肉による関拓に 二銭也であった (である) を対し、 「は、 一日を開放したが、 内地における執機関総の場が、 一日までに受付けた顕青は関い、 ことだ人とうして心臓のものであってはならない。 これをはいる。 「は、 一日までに受付けた顕青は関い、 ことが全国自二十六回三十一年の では、 「は、 一日を である では、 一日を である では、 「は、 一日を である では、 「は、 一日を である では、 「は、 一直 は、 ことが 「ない。 「は、 ことが 「ない。」 「ない。」 「は、 ことが 「ない。」 「ないい。」 「ない。」 「ないい。」 「ないい。」 「ないいい。」 「な を ハルビン市に関際版代表を認めら ハルビンにおいてはた、徹極能で ハルビン市に関際版代表を認める ハルビンにおいてはた、 海峡 から 本籍のであり取ってある 全は好め 事館の窓中を得て聚る廿二日欧歌 ふこごも一がたである 全まは貯め 事にさっした音味者の総数金を使ぶ 事館の窓中を得て来る廿二日欧歌 ふこごも一がたである 全まに貯め 事が近づいた、民食映画 虹台の吹遊 ある 本様極化するためには保証を 産むに致る社會脱極器の制隆にさ うした無恋家の警師を用ひること はだし荷城のものである▲その基 からするこ今日の恋養事業ま

問目問

水田地の調査

戦山署管内における犯罪

件敷

歌谷所長は今回紫日地ボ事物所長 ・ 大倉害と ・ 大倉事とが来低すること、なった 大倉事とが来低は強かに十ケ月なるも其 ・ 大倉事とが悪は響天 ・ 大倉事とが来低するとを ・ 大倉事とが来低すると ・ 大倉事とが来低すると ・ て監地を通過前行 ・ で監地を通過前行 観察氏が楽伝する 七郎男

提携を

元地委河野氏

職者所入所生を派遣する答で二日 では今後も二、三名の警察 **入**所生試驗 警察講習所

本社族職支社長明日郷二氏來族新民政器、市役所等式なるが職人、要素明金館、松新既社、要素明金館、松新既社、のの今の融談とたりののの融談とたり、一般ののかの融談となるが、一般のからの融談となるが、一般のからの融談となるが、一般のからの融談となるが、一般のからの、一般ののからの、一般ののでは、一般のでは、

懷舊談の會

● 是女洋子順二十七日出生 ● 「二六 辨木善四郎氏五 交級 で ・ 一 大迫町一五 請負業境次郎氏八 氏 ・ 無頭十九日同上 ・ 無頭十九日同上 ・ 無頭・ 一 五 請負業境次郎氏八 氏 ・ 無頭・ 一 五 請負業境次郎氏八 氏 ・ 一 五 「 官更總光能勝氏二 要 公 ・ 一 一 工 一 官 更 總 光 市 ・ 一 二 日 同 上 ・ 一 一 日 同 上 ・ 一 一 日 同 上 ・ 一 一 日 同 上 ・ 一 一 日 同 上 ・ 一 一 日 同 上 ・ 一 一 日 同 上 ・ 一 一 日 同 上 ・ 一 一 日 同 上 ・ 一 一 日 同 上 ・ 一 一 日 同 上 ・ 一 一 一 日 同 上 ・ 一 一 日 同 上 ・ 一 一 日 同 上 ・ 一 一 日 同 上

男な、一般の三氏は軽いて、一般では一般の三氏は軽いないだらうが、野坂、山大変は絶びないだらうが、野坂、山大変は絶びないだらうが、野坂、山大変の三氏は軽して、田出居を mで大元社長山本久治、★ダイ は沈默も時期の帰道により経境の は沈默も時期の帰道により経境の

原文、野坂麻薇、荒木幸七郎

るとになって居るの懐に耐へざるも 陸軍記念日

催心物決定

地学十一月上旬閉店の止むなきに の他屬係者の仲介の努力により漸 く解決し債務は最少限度で年賦償 選ざいふこさになり多少の資金を 選ざいふこさになり多少の資金を 関連し新品購入の上五日から開業 するこさになり

二日午前六時半頃中谷ビル樂商會 至らず消し止めたが原因は同籍に 入れてあつた鉋屑にストーブの火 が飛んだものらしいさ

▲大津町二七 渡邊守氏夫人カョ 1 補鍵社員倶樂部の春季園が大會は 滿鐵圍碁大會

れてある

春 一世八列車 東京より本溪一屋

一、壽會取締規則違反一で全部「職する罪」、阿片一、醫察犯「関する罪」、阿片一、醫察犯「職力」、阿片一、醫察犯」、紹査八个中後輩一ン名譽

率、瞬前廣場に於て兵工廠附玉徳 空下の経業町山本さか(四六) がでする自動車が一日夜突然パックせるため経業町山本さか(四六) た乗せたる洋車さ衝突しさかは全 たのは全 が出来が、日本で、四六)

第一日午前九時から開催を含者七十年等がら十等迄の入賞者左の妲し一等高橋、二等松村、三等橋足工等編出工工等幅別、八等編出工工等相別、八等編出工工等報別、八等編出工工等報別、八等編出工工等報別、八等編出工工等報別、八等編出工工等報別、八等編出工工等報刊、八等編出工工等

てゐるも木年は一瞬百萬本の配給では自身でである。本年は一瞬百萬本の配給をなすべく解釈斯を控へて感情になり掛ってゐる稀數は松、カラ松の大事を表し多くアカシア、ドロ等の主されるが領年五六十萬本紀郷下げ では、長谷、無順ご共に生産出版 はして流線に誇る戦山苗順では版 では、大田本の神込をうける。 では、大田本の神込をうける。 では、大田本の神込をうける。 では、大田本の神込をうける。 では、大田本の神込をうける。 では、大田本の神込をうける。 では、大田本の神込をうける。 では、大田本の神込をうける。 では、大田本の神込をうける。 苗木の拂下げ 関係(静所で打合中でも5 見坊所 長送別 宴 迎く

支那と

0)

芸師る

順

を歴がし解伝の疾਼持なし 林氏辟任挨拶不够能

泥棒の進化

の主なるものは

開店出來ぬもの多し 露支交涉委員孫氏談

無順驛の

特產物

昨年よりも増加

既に二千五百噸增

要な原因である

Ξ

伊藤議長赴奉

舊正月を越して 巨商街の寂れ方 露國口渴望

街

のうんこは

(日曜水)

中風が 今 吹いてる かっなここになるのです、高いので温いこ思って薄着で外出 しいので温いこ思って薄着で外出 しいので温いこ思って薄着で外出 したりすることになるのです、高も歌に

の罪であるさして見れば るるわけで、それを好子の多くは飛ん でもない繁聚を蒙つて さるかけで、それを好子にのみ難

パタのコーヒー 熱い飲み物

地な臭類が混じつてゐます。時に 一年乳等の人工愛察見では、黄色味 中乳等の人工愛察見では、黄色味 が淡く、健さも幾分健く、一種や はな臭類が混じつてゐます。時に 前の割合で、なバタでいため」かりの患者がある

り、黄色味を帯びて灰白色さなつは非常に配くなつてボロくしさな

其都度十分に

檢査をなさい

(五)

日

も多いのです。それであるのに 三月が であるさいふこさは在滅人の十分 であるさいふこさは在滅人の十分

につき、大腿山盛一杯を味にこ につき、大腿山盛一杯を味にこ につき、大腿山盛一杯を味にこ た楽かしその中に文字燻のや また溶かしその中に文字燻のや

=

月

Ξ

ご率が多くなるのです。つまり新の窓で吸器に関する権威率及び死

いふのも要す がや殿目に差異のある、場合があって、つまりが のなごには店によって甚だもく目を解解等及び死 で懸ふが、御用聞きに注対したも

数す個へて置くここで行職人から 買ったもの、御用職人から届けた ものは一々呼ってその最目を検査 することが必要である、知うした

が家庭經濟合理化の根本さなるべ

年

六 和

最もわる

い季節

は一年中で

光大 ハ ヒコウキ 日ノ鬼臓 光大 ハ ヒコウキ 日ノ鬼臓

ナカヨシノ

B

丸

號

ユ

ク

 $\hat{\Xi}$

次

朗

死亡率は此の月が一番多い

滿國衛生課長 金井章次氏

中男生 △ などがお 中男生 △ などがお 水線は概能暖かくなつてゐるのなよく見かけますが、前にも言つたやうに 外線は概能暖かくなつてゐても大 であるさいふこさは在浦人の十分に対ける衛生上の決意さらては野いなければならのこさだいからさ言って急に潮道に替へたりするやうなこさなせず返くさればするの服態で外出する を明ないさ言ってもそれは目で見ないから金銭にしては大もた概察ではから金銭にしては大もた概察ではかったは大きな概察ではあわけである。それで之等の不正を防止する。 を る際に支那で敵人などには此の私 か ナー こ見るこ、 思ひ切つたゴマ化。 ・ 野菜や 除なごは上の私 ・ とがする、 然心切ったゴマ化。 ・ とがする、 然心切ったゴマ化。

不姓は

コップに小匙三杯の砂糖を入れ 押します。そにから大匙一杯の一ツブドリ髪ニャー・マーツブドリ髪ニャー

◆相談係宛 ◆用紙へガキ

疲勢の回復をはかる 電波の循環をよくし 血液の循環をよくし

の輪切を浮かして飲みま

は高價ですから蜂蜜まには砂かけて食します。このシロッ

さいたのでみんなが大窓ひをしま とよりに頭をぶつ・けて大きな繋で ぶりに頭をぶつ・けて大きな繋で ぶりに頭をぶつ・けて大きな繋で

の数三分の一は、その原因が乳子 うか、ドイツのある墨者の調べた うか、ドイツのある墨者の調べた の数三分の一は、その原因が乳子 をいる。 つきり日本では不粧の質性は全部女子に負擔させてる の罪であるさして見の罪であるさい 解が原因さなつて女子が不振にな 我国には「三年にして子 の二までが男子 ーヒーン熱波(一人凡を五少) ーヒーン熱波(一人凡を五少)

を 大に又赤立らかいつたら水を一次に又赤立らかいつたら水をついまってミルクや砂糖を入れて飲いまってミルクや砂糖を入れて飲いまってミルクや砂糖を入れて飲いまってミルクをではならの事がに さうになったら水を一滴落し、 を入れてトロ火にかけ、

家のあかちやんは今年二つて名 見童の作品 村田太

すから、從つてその養表も學校に 整権な軽率とた人ですさ學校から 學校な容率した人ですさ學校から 知がある等です

唯一最良の味方である諸君の元氣を百倍せしむる

西堀新次郎氏

健康相談所

三つの病氣

動づかれ

筋肉の

4. 12

其他の痛みに

用いて効あり

腰のこり

神经 痛

御贈答用御菓子種々 根 村 村 東二二六番 木 村 東二二六番 木 村

屋屋

支本

店店

ちみ

リウマチス

土治 効能

價 定 - E E = +++

を知つてからでないさお答へ出 鳴息はドコから建つて来たるの

ません、トラホームは經野能に家のかは子孫にまでわざまし、

年後二時までの内地の書間被送は 年後二時までの内地の書間被送は 年後二時までの内地の書間被送は 内地の豊間放送 取するここが出來まずか、可能 取するここが出來まずか、可能 ならばごの程度の受信機が必要 ですかく版順一體者) とつかへはありませんか (機花紫外線照射は妊娠中の者でも差別ないのでも)



皆様は御存じですか

旅順唯一の食道樂つばみを

會席倒料理さ弊店味自慢の季節幾味しい料理で呑心地良き小座

仮の勝利は體力

房藥網輝邊渡 香七〇六四京東替振

……店商の等吾 外の服洋紗羅 たじまめ始を貨業諸を寄立御度一貨業諸

製比街を設値さ物品 いさド

^{町業清市職旅} 店 商 野 吉 ₩六八一話爾

鮮 0 驯 漬

〇内地への御郵送は荷造り数は申受けず 元 祖 川 崎 屋 洋 行

番所

純良無比の人参エキス

石炭商

矢

徽

ii 商

晉會



コシノ 太郎 ハ カタクニシノ 太郎 ハ カタク こまれたして「ばんざーい」と響が手を上げる 「パンザーイ、パンザーイ」 カスイヒコウジャウ ヲ イウスイヒコウジャウ ヲ イッパツシタ。 うになってゐるのでみんなに「か

常に越くしまずから、螺旋が 帯に越くしまずから、螺旋が 帯で飛すべきです。コーヒーや紅茶を入れるのにも障

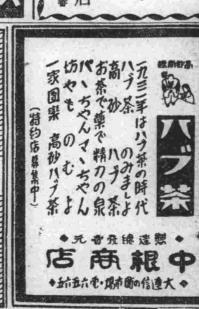
はその叔父さんや叔母さんが水 でもゆだんするさすぐストアの 前のせきたんが入れてあるのなひ でもゆだんするさすぐストアの イシュ

11

古洋服いろり

堂

引立の程をしている。 そして 經



今般學生用トシテ着荷

井

時

ム側腕時計六圓以上

活版石版 製本… 番八四〇四話電

乃旅町順

緊縮節約の折柄 特に宿料の勉強で親切可 厚かモット 近の物を特に選続 士 屋 屋 旅館 館

強 無 他 態店にあり 満洲代理店 精腦

食道樂の機能の機能は東京の場所を開発した。

調に

- み

Λ

すき焼

くさらもち

ひひさ

しなも

新昂

の権

白

※店食料品店にあり 京都帝國大學小兒科伽推賞 說明書進呈

御愛用の方は

キツト効果の現れを見て頂けます。 ない、あなた御自身の健康を願みて下さい。 健康を願みて下さい。

乾卯商店大連支店

用途 無機中や素後の方へ、機関、期の愛見様への変見様へ 最高科學の完成品ラクトーゲンは發動しますあなたの御家庭にもいから幸福へ、斯くてラクトーゲンの常備ある異價は年々増大し今では何れの御家庭にも必からでは何れの御家を開者から感謝と適讃の絶えた事は時代になつて参りました、お奬め致いになって参りました。おりますが幾十萬ののは、日本のののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本のは、日本のでは、日

取

品

VC VC

所 在 地

牛莊、

安東縣、奉天、

長春、哈爾賓

大連市山縣通百八十二番地

業、造船業及附帶事業、問屋業、

運送業、

保険並に

船舶代理



位本側樣客御對絕

花子」 梅る本で 権本で 勉強するのれー 買ってもらり 修本は何でもよく 買ってもらったのよ ポクの靴さハイノーは

目丁二町速浪市連大 鞄 靴 製 本 店 番六八四七話電

太郎」

物鑛石類、織物類、鹽、海産物、砂糖、健詰類、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、水材、硫安其他化學肥料、酒精其他工業製品、金木材、硫安其他化學肥料、酒精其他工業製品、金木材、硫安其他食料品 并物産 一統會社大連

> |躍活の屋 質 金簡 宝嚴守 金 東京場合は岩珠 関京場合は岩珠 関京場合は岩珠 関京場合は岩 独 関 関 で る

||通う灯白オ集投發手其 信デ火動が発売で 信が大事が発売で 用用用用機器器燈種 (カタログ送星)

大連信濃即

湯浅畜電池製造株式會社

造智計祭

同遂同核營大瓦旅办運 石房 河濱 陽 山口橋店厦口街

金天金護近かス高樂業

安本同同長公同四開建 漢 主 平 東湖 客韻 街原礦

仓堂店行行行行行营會

輸

入

元

即 角斑斑町

題込

梶 原建築事 大連市但馬町上二 與東處第一級主性技術者 電話六二八七番 **努** 原勇

印刷印 東亞印刷蘇武大連支店 大連市近江町 般 電話七三六六四番 オフ ギンク 活版•石版 版

升、四合、二合、瓢形洋盃 鶴 瑞西ジュラツシア蓄音器新型 年 壜 氣を博せ 詰 3 店支連大社會名合納嘉 FULOD> - HO~ --- @H----(DO7177

登錄 亞鉛 亞鉛引浪板 뮵 質本位の地球獅子牌亞鉛引平浪板 引平板 9日/… TH◎~ 第子類 玩 世 本店 大連市監部通四十九路地 目課業營 所張田店支 會就 大天錦長哈奉 () I FULODY Ê



壽司 名 物

場馬ルトクド 醫 江庄場馬

婦産内 人 科科科 佐志醫院 産内

Waterman's Ideal FountainBen 有用金银+通出大市金大 **店具文堂書篇** 最本0.58 图本东西最春

門專科内 院醫富安

編小內 人兒 科科科 大連市若狭町二三二 大学 美田子代報 を語べたかのま 蘭門 安部磁雄 岩狹町二三二



金五十錢

全社 矢野 揮發油 サラ 元 電話 国人三五八番 商 油類一切 植物 機椒

油

男女學 **耐寒防水覆布** 洋 服・ 室 生 練 本事 服 服 服

八三二八 一六一四 二六一四 囡





館で働いてゐる從

兀宵節の爆竹で

橋立町の宵火事

火片が木材置場に飛んで

二戸三百坪を焼く

番地様木酸麻敷がこと数語は(F)

接続を出版する者観出し、画通社 なが、金飾けに抜け目のない連中 なが、金飾けに抜け目のない連中 なが、金飾けに抜け目のない連中

二常設映畵館改築

本月限い

側の問題になってあた事単司業 合せのため三日、関東殿を訪問と た貼山水上男保安主任は語る た場山水上男保安主任は語る

かへつて後から支障が起る機ながこれは届か出して資ふ機に決がこれは届か出して資ふ機に決がこれが船舶業務がこれが場所業務

中だつた山岸、志村麻逐手は二日【東京特電三日盤】マニラに遠征

合の通關禁許可顧の要不要にの問題になってゐた海運同業

舊住宅七分値下

火葬料も二三等値下

大連市豫算委員會

早速三館の失業者を利用して

臨時興行場の計畫

館の三常殿館は本月末殴りで

到り高等消費館、液準館、惰

が試みられてるら、大連操保が係っては市衝突のうへからも必否に続いては難をひれつからも必然の監

が、神概館のものは振尾する。 かい 神概館のものは振尾する

るまでを期限に計可する社会して一二の臨時無行場は欧築の出

中使用料の高等女學校で素料一萬中使用料の高等女學校で素料五千十五個は原家通り、離工學校

第一回の子供 第一回の子供

歲人總常部第一數使用料及手數料

三三等値下げ

やうに麻手な突き出すんです。 て流動からポキシングでもやる

各化粧品店に有り

的八七九番 店

來年過はポールを

白米下落!値は

り緩會すること、して設會した で可決、第四項報入一意圖は異 議れく可決、第四項報入一意圖は異

下等大統論になった

着るもい發展振りか

昨年來文化住主及び

を成して來た歌一

なった

派出所を

新設

とて同方面治安維特を降ること、とて同方面治安維持を降ること、

を下げての大喜びの話。 を下げての大喜びの話。 を下げての大喜びの話。 を下げての大喜びの話。

湯も火もいらぬ奇蹟的發明!!!

一世人の驚異さする不思議なるマホー布側に後の在来の炬煙、電氣炬燵における總での駅點を美事に除去したものでありまして、質短煙における總での駅點を美事に除去したものでありまして、質点の精りは在來出より餘程長く持たする事二、帝側の持久は在來出より餘程長く持たする事二、帝側の持久は在來出より餘程長く持たする事二、帝側の持久は在來出より餘程長く持たする事二、帝側の持久は在來出より餘程長く持たする事二、帝側の持久は在來出より餘程長く持たする事二、帝側の持久は在來出より餘程長く持たする事二、帝側の持久は在來出より餘程長でありませぬ一組金壹圓六十錢熱の持しな一部一郎一店一店一部一店一店一店一店一店一店一店一店店店店店店的

心さして養成すべき土地であるの心さして養成すべき土地であるの中

日 が試みられてある。大連地保が既れては当年のうへからも公安の監にでは当年のでは、大連地保が既れては、大連地保が既れている。大連地保が既れている。大連地保が既れている。大連地保が既れている。大連地保が既れている。大連地保が既れている。

配 時光変者数減の一が独さらなるの 三館が一時に体薬するのであるか の 三館が一時に体薬するのであるか

ויוילני

(東京年際ご共に内蒙古に概々際たならて侵入らつ、あり、これ等は谷地な蹂躙して生即主等の家畜を養産年際ご共に内蒙古の傾合を築し、これがため州蒙赤衛軍は衝灰内蒙古の住台、外蒙共産主の内蒙古では経來の行政組織たる族盟線度要襲され、ソウェート政府組織がこれに代りつ、あり蒙古る内蒙古では経來の行政組織たる族盟線度要襲され、ソウェート政府組織がこれに代りつ、あり蒙古る内蒙古では経來の行政組織たる族盟線度要襲され、ソウェート政府組織がこれに代りつ、あり蒙古る内蒙古では経來の行政組織たる族盟線度要襲され、ソウェート政府組織がこれに代りつ、あり蒙古る内蒙古では経來の行政組織たる族盟線を表表した。

通關業許可願

出す事に決め

れまた行かればならねこ思ふれまた行かればならねたい。この方針で進むつもりでゐる、この方針で進むつもりでゐる、この方針で進むったりでゐる、

航空

便が

増えた

行二髪は四月初め県び鬱口に郷鑑 なは目下暗漆の途にある消鐵小蓋 なは目下暗漆の途にある消鐵小蓋

東洋拓殖株會社

ス

衛、朝籍党 の航空郵便等は内地で の航空郵便等は内地で

で月ミ比較すれ で月ミ比較すれ で月ミ比較すれ

製金館内の級三分の一を背負ってつて居る蘇明派出所は本署小崗子のて居る蘇明派出所は本署小崗子

有子

大阪毎日の今尾の路前

最新式マホー

布團

小兒の一般咳嗽にも盛んに賞用せらる百日咳の治療と豫防に卓効ある本劑は

せしめ頓挫的に咳嗽を快癒する効あり。特に就寢前に與ふる一匙は快き安眠を得

特

許

小見のせきに

きのふ關東廳訪問の

脇山水上署保安主任の話

志村兩選手

ば四百三箇の邀悼で

例中等校野球代表并

高

きのふ元宵節にて

である、脱迷に爆竹の火片が木材。 に燃き起したものらしく、撮響は が大子園の見込み

六日夜七時半から協和會館で

音俱樂樂會部

會員ご滿日讀者二圓

外劉家屯冷山河を首め關係者一同

本署に召喚、詳細取調中

介舞踊界の二

一明星

p

フ夫

妻の

元 坂 東京 東京 二六 東

では八三九

ををでうなし

本。四國五十錢

同ニッケ

十五錢

學生子供 一錢

スケート

場開設

學生子供

場

湮

類

食料品

猛威を加へ徹防器の活動も水利の

内蒙併合を策

外蒙古赤衛軍動

主

催

漸次侵入して王公の財産を沒收

勞農露國の援助で

行ったが、左の成績

で大勝した

表・魯學士女木田児生の搭織つき 表・魯學士女木田児生の搭織つき とない ここしけの 秘集

室寮診男岩 室寮診科保

内科專門

櫻井內

科醫

。院

2

の碎氷終る

門專

靑

精

針 賣 遊塘 店

治

ち行

隣座器常街鎖連

一九二二二電

め

横**圆稚幼場**廣西 番五二三四話電

連 銀座在

天广

支那における選手機保持者である

TH

て行く、満洲スポーツ界、 力 果立ちゆく中等學校の運動選手 母校に残し 奮鬪 0

歴史を

は、大なる無常な変配に使いている。 をする門出 ……被等の前途には、地震ができる。 でする門出 ……被等の前途には、地震ができる。 でする門出 ……被等の前途には、地震ができる。 でする門出 ……被等の前途には、地震ができる。 がななる使命に向って鬱逝せん。 でする門出 ……被等の前途には、地震ができる。 でする門出 ……被等の前途には、地震ができる。 でする。大なる無常な変配に荷できる。 である。大なる無常な変配に荷できる。 である。大なる無常な変配に荷できる。 である。大なる無常な変配に荷できる。 である。大なる無常な変配に荷できる。 である。 前論に幸あれからた歌る

騎は明治大學へ、港川は早大へ、

更に安滞陸上選手さして砲丸投げ

大連のスポーツ界を可放り膨はし 大連のスポーツ界を可放り膨はし 大連チームのガードさして活躍し 大連チームのガードさして活躍し 指して居る

東京融大へ、短距離の個階一郎選手に清電を企業して形像のジャンパー近藤政元が飛いまして活躍した加藤銀平選手は同志社を目指し、破域の印水源では同志社を目指し、破域の印水源では同志社を目指し、破域の印水源で 大連二中の常田正三選手は實務に就く、 大連二中の中戦たる選手は高齢を済れて、また 大連二中の中戦たる選手は首務に就く、また 大連二中の中戦たる選手は首務に就く、また 失いと観響の感か深くする、大連 勝した大連甲等學校整合チームの まわして襲ひ師観大學には既れた まわして襲ひ師観大學には既れた

することになった、また水上忠郎 選手は制理県校に大連二中及び全 、変響子は制理県校に大連二中及び全

財 擬に賞様である、本年度は一人の 野 擬に賞様である、本年度は一人の 野 一番大いに頑張って欲しい。 女子のがも同様覚様なものである 大學のがも同様覚様なものである 大學のがも同様覚様なものである 大學のがも同様覚様なものである 大學のがも同様覚様なものである 大學のがも同様覚様なものである

要子、大連神の 主教出輪富貴子 主教出輪富貴子

松山高校が希望しては

田亭被壁は日大廟科・

日本の他スケートの吉屋昌雄派手は その他スケートの吉屋昌雄派手は

大子の殿駅に家庭生活に入るこの が、 のでは、他性をより東立つて行く同 のでは、他性をより東立つて行く同 では、 のでは、他性をより東立つて行く同 では、 のでは、 のでは けふの滿日講堂

遊藝會な午後六時中より開催する 遊藝會な午後六時中より開催する

大乗務に(以上一中)臨珠の園松 遺除歌手(大融)は名古屋高殿へ 中野島 数三の陳殿は旅順高女の補修科に連む ー中サッカーの中心たる安部歴文 伊野島 数三の陳慶寺はさもに佐賀 を目指して居る

庭に入られるさの。

8

各

地名

童

物

ホットケーキの素ないか、うには壁中 精演の五條 演の五條 漬

か世

榮三

しみ

るか

清煮煮こん

清鏡地方委員職合會特別委員は決職別、祝原の正顧職長並に伊藤大 職別、祝原の正顧職長並に伊藤大 では、祝原の正顧職長並に伊藤大 では、祝原の正顧職長並に伊藤大

東京三二 養」 帝國學士院會員帝 東京三二 養」 帝國學士院解院自氏は 原教察で帝大翔院に入院加線中の 事学士六十四歳、氏は群馬縣の人我 が國美學の蘇斗である

地方委員代表

商政法經濟 田

亀澤酒渍

東京風菓子謹製

山店

おぼろ



数で後につき極報を設は三日午後一時より非公式に市會議及室に放て時より非公式に市會議及室に放て時より非公式に市會議及室に放てころあったが小學校費は概に常議ところあったが小學校費は概に常議ところあり、これ

の名がた置ひました。 離れか時の名がた置ひました。 離れか時

店商廉白

發賣元 鐵

通 谷

語での 店

品質桝目確質多少に拘らず配達致升 電話ニニー〇〇 れらみ其他機・手足の痛む倒方様 は御來堂下さい。あんぶく 質腸を病むむ方は 大連市美濃町二五電六六八八 大連市美濃町二五電六六八八

はれて売り、第三回のが至ってびんの子で、第三回のが至ってびんの子で、第三回のが至ってびんの子で、第三回のが至ってびん

東京市神田區今川小路一ノ三春陽社が全権威ある最新自宅療法にて効が、対解を選挙を終了にて効ける機械がある最新自宅療法にて効ける。

せ ず

悪 醉

